

SITE REPORT 1

イギリスのNGOの協力により、フィリムの学校に太陽熱温水器が設置されました

フィリムでは今でも昼間は全く電気が使えず(夜も一部の照明のみ)、ガスもないため、一度に大量のお湯を沸かすことは困難でした。2009年の寄宿舎完成後、寄宿生も増えたため、炊事や身体を洗うのにお湯が利用できたら…という学校側の要望に対して、イギリスの国際NGO三団体が協力して昨年学校の敷地内に太陽熱温水器が設置されました。ビニルパイプで川から水を引き、蛇口も取り付け、冬でも天気のよい日には温かいお湯が利用でき、大変喜ばれています。AAFには次の段階として「女子でも利用しやすいようにシャワールームを建設してほしい」という要望があり、3期工事で検討していく予定です。

日本では震災後、節電が大きな問題になっていますが、ネパールではフィリムのように電気がほとんど使えない地域はまだ多く、都心部でさえ日常的に計画停電が実施されています。一度手に入れた便利さを手放すことは容易なことではありませんが、今一度グローバルな視点でエネルギー問題を見直す時期に来ているのではないでしょうか。



太陽熱温水器

SITE REPORT 2

在ネパール日本大使館の担当書記官がフィリムの学校を視察されました

フィリムの学校に2期工事の寄宿舎3棟と食堂、便所が完成してから約2年が経過した本年5月25日に、在ネパール日本大使館・経済協力班の半井(なかばい)書記官が現地を視察されました。フィリムの学校は1期工事の校舎、2期工事の寄宿舎とともに、外務省の無償資金協力を得て建設をしておりますが、物価上昇・人件費高騰により2期工事の寄宿舎が当初の予定より規模を縮小(SITE REPORT 3参照)せざるを得なかったこともあり、現在の入居人数や運営状況を調査・確認していただきました。

調査結果は今後本省に報告され、3期工事に対する無償資金協力の要否の判断材料になると思われます。



寄宿舎を視察する半井書記官(中央)

SITE REPORT 3

フィリムで4棟目の寄宿舎の建設が始まりました

2期工事で物価上昇・人件費高騰により工期内に完成できず、いったん中止していた4棟目の寄宿舎が6月によく着工しました。2009年春に2期工事竣工後も、なかなか建設資金のめどが立たなかったのですが、昨年ゴルカ郡から補助金が出たことと、カレンダーキャンペーンをはじめ、AAFへの多くの皆様のご寄付により、何とか建設を進めることが可能となりました。在ネパール日本大使館の視察があった5月下旬にはすでに現地に壁の石材と木材等が搬入されていましたが、現地が雨季に入ったため、現在工程はゆっくりとしたペースで進んでいます。遅くとも9月には完成し、28名の生徒が入居する予定です。

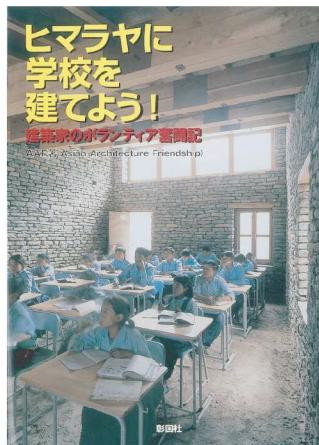


すでに現地に搬入された壁の石材と木材

INFORMATION

「ヒマラヤに学校を建てよう！建築家のボランティア奮闘記」
が購入できます

AAFの活動のきっかけからフィリムでの1期工事の完了までのプロセスを綴った単行本「ヒマラヤに学校を建てよう！建築家のボランティア奮闘記」（彰国社）が郵便振替の払込取扱票で購入できます。ご希望の方は通信欄に「本希望」とご記入の上、1冊2000円をお振入ください。（尚、代金の20%は学校建設資金として活用されます。）



>>> 購入の方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「本希望」とご記入の上、郵便振替にてお振入ください

AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に発足した民間ボランティア団体です。
建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

AAFの活動と実績

- 2003.04 ネパールのフィリムに'Buddha Primary&Secondary School'竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう！建築家のボランティア奮闘記」(彰国社)を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動—ヒマラヤの学校建設—」展を開催(ギャラリー エークワード／東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤ・キャンパスボカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出演
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィリムの学校、ボカラの「さくら寮」がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08 フィリムの学校が韓国の建築雑誌'C3'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出演
- 2008.10 フィリムの学校がタイのデザイン雑誌'art4d'に掲載
- 2009.05 フィリムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 フィリムの学校が第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展 vol.2」を開催(ギャラリー エーカワード／東京)
現在3期工事(寄宿舎2棟、教師宿舎棟)に向けて支援活動継続中

アジアに学校等をつくるための 寄付にご協力ください

AAFは、学びたくても学ぶことができないアジアのこどもたちのために、学校や寄宿舎等の教育関連施設をつくるボランティア活動を推進しています。多くの方々の協力により開校したネパール・フィリム村の学校建設プロジェクトの3期工事(最終段階)として、現在教員宿舎および生徒宿舎の増築を計画中です。教員の多くは都市部から派遣されていますが、車の通れる道のある町から歩いて2日かかる山奥の学校のため、不便ながら民家に下宿して生活しています。遠隔地に住むこどもたちのための宿舎はもちろんのこと、今後も優秀な教員を継続的に確保してゆくためには、教員の生活環境を改善することも重要な支援のひとつであるとAAFは考えています。みなさまのご支援・ご協力を願っています。

>>> 寄付の方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「寄付」とご記入の上、郵便振替にてお振入ください

AAF会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

会員制度は活動の主旨に賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。会員になっていただいた方には会報「AAF NEWS」をお送りさせていただきます。

ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>> 入会方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振入ください

>>> 会費

- 一般会員：1口 5,000円(年額)
- 法人会員：1口50,000円(年額)

AAFへの郵便振替は下記口座にお願いいたします

>>> 口座番号 : 00910-0-64819

>>> 加入者名 : AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

編集後記

フィリムに太陽熱温水器が来たそうです。川の水を引いて太陽で暖め、使った水は自然に返す=返せる分だけ使う。シンプルでいいなと思います。 T

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。
1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

CONTENTS

NEWS

TOPICS 西宮国際交流デーにてバザー・パネル展示を行いました

SITE REPORT 1 イギリスのNGOの協力により、フィリムの学校に太陽熱温水器が設置されました

SITE REPORT 2 在ネパール日本大使館の担当書記官がフィリムの学校を視察されました

SITE REPORT 3 フィリムで4棟目の寄宿舎の建設が始まりました

INFORMATION・AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship

NEWS

ネパール政府からフィリムの学校の寄宿生に奨学金が支給されることになりました

フィリムの学校の寄宿舎で生活を送る生徒たちに対して、このたびネパール政府から100名の生徒に対して年間1名当たり18,000NRs.(約20,500円)の奨学金が7月17日より支給されることになりました。

>次ページに詳細を掲載



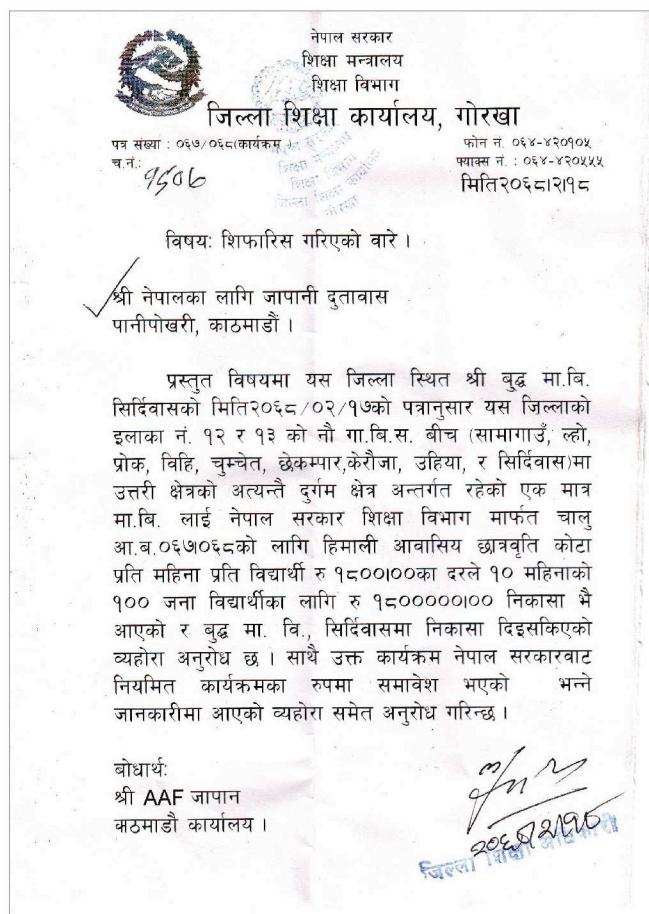
給食の順番待ちで食器を持って並ぶ生徒たち

NEWS

ネパール政府からフィリムの学校の寄宿生に奨学金が支給されることになりました

フィリムの学校の寄宿舎で生活を送る生徒たちに対して、これまで松浦輝夫さんら日本の支援者によって奨学金を供与してきましたが、このたび周辺地域に中学校、高校が他にないことに加えて、学校の運営状況、進学率などが評価され、ネパール政府から100名の生徒に対して年間1名当たり18,000NRs.(約20,500円)の奨学金が7月17日より支給されることになりました。

これまでこの地域では国としての教育施策がほとんど為されていなかったことを考えると大きな進歩です。実際に学校や寄宿舎を建設し、運営していくことがネパール政府に対する大きなアピールになったようで、あらためてご支援、ご協力いただいた多くの皆様に感謝の意を表したいと思います。また10年生まで勉強した生徒がさらに進学するにはSLC(School Leaving Certificate)という全国統一試験に合格しなければなりませんが、フィリムの学校は合格率がきわめて高く、今年も10人が受験し全員が合格しました。（今年度の全国の合格率は55.5%）これは生徒たちの向学心の高さと、教員の熱心な指導のたまものであり、そういった実績も今回の奨学金の支給につながったものと思われます。2009年に寄宿舎3棟が完成してから入居希望者は増え続け、現在は120名の生徒が寄宿舎で生活しながら勉強を続けています。



ネパール政府より日本大使館およびAAFに出された、奨学金支給についての文書

TOPICS

西宮国際交流デーにてバザー・パネル展示を行いました

毎年2月、JR西宮駅前のフレンテ西宮で行われている、財団法人西宮市国際交流協会主催の西宮国際交流デーに、今年もAAFが出展しました。主に西宮を拠点として活躍するボランティア団体のバザー・展示、民族音楽パフォーマンス、留学生による日本語スピーチ大会や世界一周クイズ等さまざまな催し物があり、たくさんの方々が来場され、おおいに盛り上りました。AAFでは、今年は恒例の写真パネルの展示による活動の紹介、古着、パシュミナストールの販売に加えて、ネパールの手編みの帽子をラインアップに加え、多くの皆様にご協力をいただきました。バザーでの売上、募金については学校建設費用の一部にあてさせていただきます。この手編みの帽子は、仕事がなく貧困率の高い地域で、現金収入を得るための手段を与えるボランティア活動をしているネパール人から仕入れたもので、その地域の経済にも寄与しています。



手編みの帽子



当時の状況